

中野こども病院ニュース

平成28年2月10日発行 第30号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

インフルエンザA型、B型共に流行中です



インフルエンザA型、B型共に流行中です。予防接種やマスク、うがいや手洗いで予防に努めましょう。インフルエンザになると高熱がでるため熱性けいれんを起こす患者様も増えてきました。お子様がけいれんを起こした時どうしたらいいのか当院村上医師に聞いてみました。

熱性けいれんってなんで起こるの？

こどもの脳は、大人と違って未成熟です。経験も乏しく、いろいろな刺激にも慣れていません。とくに急な体温の変化には敏感に反応してしまい、過剰な電気活動を起こし、けいれんという症状を起こします。6歳頃になると起こさなくなるのは、発熱に慣れてくるからです。

こどもが熱性けいれんを起こしました！観察するポイント、気を付けることは？

一番大切なことは、あわてないことです。けいれんですぐに命に関わることはありません。深呼吸して、気を落ち着かせましょう。次にすることは、安全な場所に寝かせ、観察することです。チェックポイントは、顔色（土気色になることが多いです）・目の動き（白目を向くことが多いです）・体の動き（左右対称に硬くなったり、ピクピクします）などです。始まった時間も記憶しておきましょう。

熱性けいれんは予防できますか？

ダイアップ座薬という即効性のある薬を、発熱して早期に使えば予防できる可能性があります。ただし、ふらつきなどの副作用に注意が必要です。また、積極的に予防接種をして、病気になりにくくすることも間接的な予防になります。

解熱剤は使ってもいいの？

解熱剤で熱性けいれんは予防できませんが、しんどさを和らげる効果はあります。ダイアップと同時に使うと効果が弱まるので、先にダイアップを使用し、30分以上空けてから、ぐったりしているなら使しましょう。

悪寒とけいれんの違いは？

高熱の時は悪寒（おかん）といって、ブルブルからだが震えることがあります。けいれんとの違いは、悪寒の時は意識はあること（呼びかけたら反応してくれます）、時間が短い（数秒から数十秒ブルブルします）ことです。ただし悪寒が見られるときは急激に体温が上がっていくサインですので注意してください。



高熱が出た時のおうちでのケア

○水分補給を心がけましょう

熱がある時は水分が失われやすいのでお茶や果汁、子ども用のイオン水などを、こまめに与えましょう。

○体を温めるときと、冷やすとき

手足が冷たい時や、震えて顔色が悪い時（悪寒）は温めてあげましょう。

※服を厚着させたり、毛布でくるむと熱がこもり、余計に高熱になってしまうことがあります。本人の状態を見ながら調整してください。手足が熱く、頬が赤い時は冷やしてあげましょう。

※嫌がる時は無理にしなくても大丈夫です。

○解熱剤の使用について

うなされて眠れないとき、ぐずついて飲食ができないときなどに医師の指示された量と回数を守って使用しましょう。

※解熱剤を使用したからといって病気が早く治るわけではありません。使いすぎると熱の上げ下げで余計にお子様の体力を消耗させてしまうことになります。

当院の流行状況

RSウイルスの検出がようやく減ってきました。代わって春に流行するヒトメタニューモウイルスが検出され始めました。

学童期のお子様を中心にマイコプラズマ感染症が流行しています。引き続き注意が必要です。

ノロウイルスが多数検出されています。嘔吐や下痢症状で来院される患者様も増えており注意が必要です。

インフルエンザA型、B型の検出が増えてきました。まだまだ流行は続きます。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<http://www.nakano-kodomo.or.jp>

2月の病棟行事は「ぱらっぱ豆まき」を行いました！！

2月3日に病棟行事「ぱらっぱ豆まき」を行いました。

子どもたちが怖がりにくいように保育士が考えてくれたカワイイ??鬼が登場し、鬼と一緒に豆入れゲームで遊びました。製作では乳児は鬼の角、幼児は鬼のお面、学童の子どもたちは鬼のペン立てを作りました。



鬼の角



鬼のペン立て



製作も上手にできたかな？



鬼のお面



鬼と玉入れゲームで遊びました。鬼を見て泣いちゃう子もいたようです…



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が新しくできました。病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せができました。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。